

## シラバス

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数
社会学演習（1）（4）	2020	通年	木4	文学部・社会学専攻、 社会情報学専攻（情報コミュニケーションコース）	田島 博実	3年次配当	4

## 履修条件・関連科目等

「産業・労働」「現代社会研究（4）」も、併せて履修しているほうが望ましいです。

## 授業で使用する言語

## 授業で使用する言語（その他の言語名）

## 授業の概要

近代から現代にいたる社会変動と、地域・企業・行政等の組織および就業者・生活者の意識や行動について、実証的にアプローチするための方法、考え方、ノウハウについて、文献学習、フィールドワーク、ディスカッションをつうじて習得します。産業・労働・組織・地域等の研究を中心に、履修者各自の関心に応じて、社会学関連領域のテーマを幅広く取り上げていきます。前期は、主に社会学や産業関係の文献にもとづく学習、意見交換を行い、後期は、調査、フィールドワークなど実践的な活動とその報告を行います。また、3年生はグループによる調査研究・フィールドワーク、4年生は卒業論文または研究論文の作成に、主に取り組みます。

## 科目目的

今日の社会では、多様なネットワークや情報システムを活用しながら、フィールドから意味のある情報を引き出して意志決定や対応行動につなげることが、ますます重要視されています。そうした意味で、問題意識の形成→実態把握→要因分析→対応策の立案と将来展望という、課題対応型実証研究を経験できるようにしたいと思います。毎年、ゼミの研究成果（個人、グループ）をゼミ論集にまとめています。

## 到達目標

## 授業計画と内容

1. 前期のオリエンテーション（スケジュール計画）
2. 演習メインテーマの解説
3. 文献・資料の選択と発表方法の説明（社会学関係または産業関係）
4. 文献学習（例）－家族とライフスタイル
5. 文献学習（例）－コミュニケーションと人間関係
6. 文献学習（例）－産業と組織
7. 文献学習（例）－地域社会と行政
8. 文献学習（例）－文化とメディア
9. 文献学習（例）－企業と労働、職業
10. 文献学習（例）－雇用システムと人材
11. 社会人・企業人ゲストとの懇談
12. フィールドワークの準備、グループ編成、テーマ検討
13. 個人研究（卒論、研究論文）の中間報告Ⅰ
14. 個人研究（卒論、研究論文）の中間報告Ⅱ
15. 後期のオリエンテーション（スケジュール計画）
16. フィールドワークのテーマ、問題関心の発表
17. フィールドワークの課題、方法、内容の検討
18. 情報収集、フィールドワーク（インタビュー、アンケート、現場観察等）の計画づくり
19. 調査、フィールドワークの実施Ⅰ
20. 調査、フィールドワークの実施Ⅱ
21. データの分析方法、まとめ方の学習
22. 調査研究の報告とディスカッションⅠ
23. 調査研究報告とディスカッションⅡ
24. 個人研究（卒論、研究論文）の報告Ⅰ
25. 個人研究（卒論、研究論文）の報告Ⅱ
26. ゼミ論集（レポート）の作成Ⅰ
27. ゼミ論集（レポート）の作成Ⅱ
28. 演習のまとめとふり返り

## 授業時間外の学修の内容

## 授業時間外の学修の内容（その他の内容等）

ゼミコンパ、ゲストスピーカー（企業人・社会人）との懇談、企業等の訪問・見学、合宿など、参加者の希望に応じていろいろと実施します。

## 授業時間外の学修に必要な時間数/週

## 成績評価の方法・基準

## 成績評価の方法・基準（備考）

出席、発表・報告、質疑応答・ディスカッション、調査・フィールドワーク、論文（レポート）の提出などで総合的に評価します。  
なお、4年次以上で履修する社会学演習（4）は卒業論文あるいは卒業研究論文の合格をもって単位が与えられます。この点をくれぐれもご注意ください。

---

**課題や試験のフィードバック方法**

---

**課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）**

---

**アクティブ・ラーニングの実施内容**

---

**アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）**

---

**授業におけるICTの活用方法**

---

**授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）**

---

**実務経験のある教員による授業**

---

**【実務経験有の場合】実務経験の内容**

---

**【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容**

---

**テキスト・参考文献等**

---

参考文献として、宮島喬編『現代社会学』有斐閣、時井・田島編著『現代の企業組織と人間』学文社、その他、産業・組織・経営関係の文献を採用します。

**その他特記事項**

---

積極的な参加姿勢、発言と意見交換、自主的な学習がとくに大切です。

**参考URL**

---

**コメント1**

---

特別措置期間中はmanabaを中心としたオンライン授業を実施します。manaba上にて、レジュメや資料の配付、小レポートの実施、質疑応答等の双方向のやり取りを行います。

特別措置期間以降における授業形態・運営方法は、改めて連絡します（オンライン授業が継続される可能性があります）。

成績評価方法は意見等の発表、レジュメやレポートを総合的に評価します。

**コメント2**

---

**コメント3**

---

**コメント4**

---